

たくさん買うのをやめる

グレタの家では、すぐに新しい服を買わなくなった。今、人々はかつてなかったほど、多くの服を買ってはすぐに手放している。おどろくべきことに、衣料品の85%が毎年すてられているという。



1秒ごとに、ごみ収集用トラック1台分の古着が、すてられたり、燃やされたりしている！

世界中の衣料品製造工場で、山ほどの電力と水が使われている。布をそめる化学薬品が海や川をよごす大きな原因となり、

ごみ捨て場にうめられた衣料品が分解されるのには非常に長い時間がかかる。

何かがつくられると、ほぼ必ず温室効果ガスが大気中に排出される。たとえば、新しい自転車をつくるとき、金属をほりだすのにも、自転車を製造するのにもエネルギーが必要であり、完成した自転車を運ぶのにもエネルギーが必要だ。そして、エネルギーをつくるためには、大量の化石燃料が使われ、大量の二酸化炭素が排出される。

だからグレタの家では、持っている古いものを大切にして、できるだけ長く使おうと決めた。どうしても何か新しいものを買わなければならない場合には、長持ちするように、手のとどく範囲で最もよいものを買った。だが、絶対に必要なものではなくても、買わずにはいられないことだってある！ ところが、家族のだれかが何か新しいものを買って、こっそり持ちかえろうとすると、どういうわけか、グレタはいつも気がつくのだ。



また、何か買ったの？

あ……

レシートを見せてちょうだい。

リサイクルについて



リデュース（へらす）、リユース（再利用）、リサイクルという言葉を知ったことがある？ この3つの中で大切なのはリデュースとリユースだよ。リサイクルももちろんいいことだけど、問題があるんだ。



豊かな国ではたいてい、自国では処理しきれないほどのごみを出している。そのため、ごみの処理とリサイクルをほかの国に依頼している。

毎日、イギリスの家庭からは1.1kgのごみが、アメリカの家庭からはその2倍近いごみが出ている。このごみのうち、イギリスでは45%が、アメリカでは35%がリサイクル用のごみ箱に入れられる。だが、どちらの国でも、そのごみが燃やされたり、すてられたりしていることがあるのだ！

ほとんどのプラスチックはリサイクルできるが、その多くがリサイクルされていない。費用がかかり、複雑な処理が必要だからだ。